

各 位

2023年9月15日
株式会社天夢人

昭和の鉄道において印象に残るできごと、列車、国鉄最後の日の写真を掲載した、『消え果てた昭和の鉄道名場面 激動の国鉄・私鉄の写真記録』を発刊

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:藤岡 功)は、2023年9月15日に、『消え果てた昭和の鉄道名場面 激動の国鉄・私鉄の写真記録』を刊行いたします。



鉄道において昭和40年代～60年代は蒸気機関車の引退や、多くの路線の廃止があった激動の時代でした。そしてもっとも大きなできごとが国鉄の解体。激動の昭和を象徴する鉄道シーンに立ち合ってきた鉄道専門のフォトライブラリー「レイルウェイズグラフィック」が収蔵する貴重な写真の数々から、昭和の鉄道名場面を選びすぐって掲載し、解説した一冊です。

記録に留めておきたい、もう見ることのできない貴重な鉄道シーンが満載

11章 記録にまつる昭和鉄道システム

中央西線電化 にむけて並ぶ 381系の試運転 とキハ181系

気動車から親子式電車へ
世代交代を象徴するシーン
中央西線全線電化直前の昭和41年11月、中央西線全線電化直前から約1か月の間、381系試運転電車とキハ181系が、それぞれ気動車列車の運用に併走していた。キハ181系は、それまで気動車列車の運用に併走していた気動車より大出力のエンジンを搭載し、中央西線は、長距離や山道など急峻な区間を走る列車に投入された。それにより、親子式電車としてのデメリットは解消された。また、急峻な区間のアップダウンを対応して381系電車の運用が開始された。昭和42年4月7日からは、それまで併走していた気動車は引退させられて一気に気動車運用から引退した。その直前には381系電車とキハ181系が併走したが、1972年4月7日からは、381系電車による運行となった。

木曾福島駅で停車したキハ181系（左）と381系試運転電車（右）の併走シーンが記録された。1972年4月7日撮影。撮影者不明



16

17

12章 誰もが忘れがたい鉄道シーン

鉄道道路併用橋を渡る 名鉄キハ8000系特急「北アルプス」

電車と自動車
が共用する橋
犬山橋で木曾川を渡る

鉄道道路併用橋は昭和電車の利便性により、長らく活用されてきた。昭和41年、東濃鉄道が国鉄の利便性を高め、昭和42年に国鉄との直通運転を開始した。その結果、国鉄から国鉄へ直通運転をする特急列車「北アルプス」が、犬山橋を渡るようになった。昭和42年4月7日からは、381系電車による運行となった。

名鉄から国鉄へ直通運転をする特急列車「北アルプス」が、犬山橋を渡る様子。昭和42年4月7日撮影。撮影者不明



54

中央西線全線電化に際し、既存のキハ181系特急型気動車と試運転の381系特急型電車が並んで停車した木曾福島駅(写真上)のように、時代の節目に繰り広げられた光景にカメラマンが立ち合って撮影した貴重な写真を収録。一方で木曾川に架かる鉄道併用橋だった犬山橋を渡り、名鉄から国鉄へ直通運転をしていた特急「北アルプス」(写真下)のように、当時は当たり前前の日常だったものの、もう二度と見ることのできなくなった鉄道シーンまで、懐かしさあふれる写真が満載です。

路線廃止直前の沿線風景を収録しています

13年 | アンソロジー編



96

広尾線臨時 「さよなら広尾線ひろお号」

「愛の国から幸福へ」
乗車券ブームの火付け役

広尾線の愛の国→幸福間にしたのは1973(昭和48)年に始発で放送された「朝日新聞」だ。この番組で取り上げられた幸福駅が愛国駅の名を冠した。1977(昭和52)年には7枚しか発行なかった愛国駅→幸福駅(愛の国から幸福へ)の乗車券は翌年からの4年でなんと4600万枚にもなった。愛国線も1975(昭和50)年の7000名超えには1981年になった。広尾線から始まった縁起がいい駅名の乗車券と入地券のブームは、日本各地に広がった。一時には福井半蔵駅の入地券「入地」は、入地券の守りとして人気を博した。しかし、ブームが落ちると広尾線の経営は悪化し、1987(昭和62)年2月1日をもって廃止された。

広尾線廃止を機に幸福駅に到着した。撮影「愛の国広尾線」 谷本邦夫 下野智雄 近藤 幸徳 幸福の地味は山形が得意とする交差点(北山) 撮影中(一) 幸122 9年乗車券が1枚も売れていない 1987年2月1日 撮影(東京)

97

愛国→幸福間のきっぷがブームになった広尾線廃止の日の写真を筆頭に、沿線の人々に惜しまれつつ廃止になった路線の、その日の写真を選びすぐって収録しています。

国鉄が消滅する、1987年3月31日の写真を掲載

13年 | 国鉄消滅の瞬間を捉えた

さようなら国鉄 「旅立ちJR西日本号」

さようなら国鉄を掲げて
22時13分に東京を出発

1987(昭和62)年3月31日国鉄最後の日。東京に在るJR東日本各社の列車を引継いだ「旅立ちJR西日本号」が、東京駅上野駅からそれぞれの本社所在地へ向け出発した。「旅立ちJR西日本号」の牽引機はEF65形101号機で、12名乗客が同乗し、国鉄最後の乗客は12名。かつて得意「さよなら」で販売されていた1等乗車券マイタ49号2号後改定乗車券が運ばれ、キャンペーンガールの乗車した。「旅立ちJR西日本号」は国鉄の乗客数を22時13分に出発し、翌4月1日の7時34分、JR西日本の大阪駅に到着した。

なお、JR東日本の乗車は東京だったため、「旅立ちJR西日本号」は東北地方と山形地方の各駅に向けて運転された。

マイタ49号2号後改定乗車券の乗車券は、国鉄最後の乗客として、国鉄の文字と日本国鉄の国鉄マークが特徴的。1987年3月31日 撮影(東京)

148



98

国鉄最後の日となった1987(昭和62)年3月31日、国鉄に別れを告げるイベントが行われ、「さようなら国鉄」のトレインマークを掲げた「旅立ち」号が、JR各社の拠点となる駅に向かって走りました。この1日のできごとを記録した写真を掲載しています。

【目次】

1章 話題になった昭和鉄道トピックス

義経号が三度北海道へ 梅小路の義経号が手宮線を走った
高崎第一機関区の「SAYONARA SL」にたくさんの人が集まった
伯備線の蒸気機関車にお召し列車の整備
中央西線電化にむけて並ぶ 381 系の試運転とキハ 181 系 など

2章 消え果てた昭和らしい鉄道シーン

車番は手描きとなった廃車を待つ SL
秩父鉄道三峰口駅に乗り入れている国鉄と東武
一円電車として日本一安かった明神電車
鉄道道路併用橋を渡る名鉄キハ 8000 系特急「北アルプス」
レッドトレイン 赤く塗られた客車 など

3章 サヨナラローカル線

白糠線最終下り列車の窓から手を振る女子生徒
宮原線の最終日 馬で見送る地元の酪農家
雪の士幌線糠平駅「さよなら士幌線しほろ号」を見送る人々
さようなら特急「ひばり」が発車する上野駅
広尾線臨時「さよなら広尾線 ひろお号」 など

4章 カメラマンが立ち合った鉄道ワンシーン

富良野線気動車とダンプカーの衝突事故
木造貨車を廃車 廃棄方法は灰に
洪水による流出から復旧工事を行う富士川橋梁
ブルートレイン 14 系客車をロビーカーなどに改造中 など

5章 鉄道とともに変わる街の風景

高架工事中の吉祥寺駅
日本万国博覧会モノレール
横浜港側から東横浜駅を見る
デルタ線を工事中の武蔵野線
汐留駅の壮大な駅構内 など

6章 国鉄消滅の瞬間を撮った

さようなら国鉄「旅立ち JR 西日本号」
国鉄最後の新駅仙石線東矢本駅が3月 31 日に開業した

特急車両から JNR マークがはがされた

「旅立ち JR 西日本号」車内では 24 時に JR 化の歓迎式が始まった など

【書誌情報】

書名:『消え果てた昭和の鉄道名場面 激動の国鉄・私鉄の写真記録』

仕様:B5 判・176 ページ

定価:2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

発売日:2023 年 9 月 15 日

全国書店、オンライン書店の Amazonなどで発売中。

<https://amzn.to/3Dhxynt>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:真柄

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://www.temjin-g.co.jp/>